

さわやかだより

乳がん・子宮がん検診を 受けましょう



乳がんとは

乳がんは、女性に一番多いがんで、40～50歳代をピークに発症や死亡が増加しており、日本人女性の約11人に1人が生涯で乳がんにかかる可能性があります。

乳がんは、早期に見つけると治る可能性の高いがんで、早期に見つかり適切な治療を受けた場合、90%以上は治ります。一方、乳がんが進行するとリンパ節や骨、肺、肝臓など、乳房以外の臓器にがん細胞が転移して命を脅かすようになります。

■乳がんを早く発見するには？

40歳に達したら検診を受けましょう。先進国では60～80%の女性が受診していますが、日本の受診率は41%（平成27年度）と、アメリカ（80.8%）の約半数しか受けていません。検診を受ける年齢に達していない人は、入浴時などに自分でも乳房をさわる習慣をつけ、乳房にしこりや異常を感じたら、専門の医療機関を受診するようにしましょう。

忙しい生活の中でも、自分自身の健康を意識し、定期的にチェックする習慣を身に付けましょう。

■特に注意が必要な人は？

5～10%は遺伝と考えられています。近い血縁者に乳がんや卵巣がんにかかったことのある人がいる場合は、遺伝的に乳がんになりやすい体質を受け継いでいる可能性があります。遺伝のほか、初経年齢が早い、閉経年齢が遅い、出産経験がない・または少ない、肥満などが乳がんにかかる危険性を高めます。

乳がんセルフチェック



子宮がんとは

子宮頸がんは、近年39歳以下の女性で発病や死亡が増えています。子宮頸がんの原因の多くは、ヒトパピローマウイルス（HPV）への感染とされています。HPVは女性の80%が生涯に一度は感染するありふれたウイルスで、自然に治ることがほとんどですが、その一部が持続感染し、がんへ進行していきます。

■子宮がんを早く発見するには？

20歳に達したら検診を受けましょう。乳がん検診同様、

先進国では60～80%の受診率がある一方、日本の受診率は42.1%です。子宮がん検診では、がんになる前の「前がん病変」や、ごく初期のがんを高精度に発見できます。この段階であれば、ごく簡単な手術で完治することも多く、妊娠や出産も可能です。

子宮がんは初期の段階では自覚症状があまり現れませんが、2年に1度定期的に検診を受けましょう。

乳がん・子宮がん健診のお知らせ

■日 時 ①1月24日（木）8時30分～13時20分②1月25日（金）8時30分～10時20分※洞爺地区は、申し込み多数の場合は午後も実施する場合があります。

■場 所 ①健康福祉センターさわやか②洞爺ふれ愛センター

■対 象 <乳がん検診>
40歳以上の人（女性のみ）
<子宮がん検診> 20歳以上の人（女性のみ）



■検査内容 <乳がん検診>問診、マンモグラフィ検査
<子宮がん検診>問診、頸部細胞診検査※希望者のみ頸部超音波検査

■料 金 <乳がん検診> 2,000円
<子宮がん検診> 1,500円（超音波検査追加は +500円）
※国民健康保険加入者は無料で受診できます。また、平成30年7月頃に無料クーポン券が送付されている人はクーポン券を使用することで無料で受診できます。

■申込み 必ず事前予約が必要です。1月18日（金）までに健康福祉センターさわやかまでお申し込みください。

問合せ 健康福祉センターさわやか（☎76-4006）